

## 大学院文学研究科 修士課程推薦入学試験について

大学院文学研究科修士課程では、早稲田大学の全学部卒業見込者を対象とした推薦入学試験を行っています。正式な2027年度推薦入学試験要項は3月下旬に公開する予定ですが、ここに推薦入学試験の概要をお知らせします。

### 1. 推薦入学試験を実施するコース

2027年度入学試験において推薦入学試験を実施するコースは、以下のとおりです。

哲学コース	英文学コース	東洋史学コース
東洋哲学コース	フランス語フランス文学コース	西洋史学コース
心理学コース	ドイツ語ドイツ文学コース	考古学コース
社会学コース	ロシア語ロシア文化コース	文化人類学コース
教育学コース	中国語中国文学コース	中東・イスラーム研究コース
日本語日本文学コース	美術史学コース	社会構築論コース

\*各コースとも募集人員は「若干名」です。

\*文化構想学部・文学部以外の早稲田大学学部生も出願可能です。

\*文化構想学部・文学部の学生は、現所属の論系・コースに関係なく、出願するコースを選択できます。

\*推薦入学試験とは別に、9月に一般入学試験を実施します。募集コースは、推薦入学試験を実施する上記コースを含むすべてのコースです。

### 2. 出願資格

推薦入学試験への出願にあたっては、以下のすべての条件を満たす必要があります。

- ① **本学学部の在学学生**で出願時において2026年度（2026年9月または2027年3月）卒業見込みであること
  - ・休学や留学をしても出願資格はあります。
  - ・延長生も出願資格はあります。
- ② 早稲田大学大学院文学研究科の出願コースへの進学を第一志望としていること
- ③ 最新のGPA証明書に基づくGPAが**3.00**以上であること

\*最新のGPA証明書に基づくGPAとは、1年次～出願時点までに出ている成績の通算GPAを指しています。

\*現時点のGPAは、後述の算出方法を参照し、各自で算出してください。

\*転部試験・学士入試を経て転部・編入学した方は、転部・編入学後の成績でGPAを算出してください。

### 3. 選考方法と日程

推薦入学試験においては、一般入学試験と異なり筆記試験を行いません。書類選考と口述試験によって選考します。

2027年度の推薦入学試験は以下の日程で行います。詳細は3月下旬公開予定の入学試験要項をご確認ください。

入学試験要項公開	2026年3月下旬
出願期間	2026年6月1日（月）～10日（水）
口述試験	2026年7月11日（土）
合格発表	2026年7月16日（木）

#### 4. 推奨事項（文化構想学部、文学部在学者）

- 1) 推薦入学希望者には、コースが履修することが望ましいとする大学院科目の先取り履修を推奨します。
- 2) 出願者には、A評価以上に値するゼミ論文・卒業研究・卒業論文を作成することを期待します。
- 3) 下表のとおり、コースごとの推奨事項を確認のうえ、出願をしてください。

コース名	推奨事項
哲学	「基礎外国語」ならびに「必修英語」を含む外国語の成績優秀者であること、また哲学関連の演習科目・講義科目を履修していることが望ましい。
東洋哲学	文学部東洋哲学コース以外に在学する推薦入学希望者は、東洋古典学（インド・中国・日本の思想や宗教）・漢文関係の科目を履修するほか、インド学専攻希望者はサンスクリット語・チベット語に関連する科目を履修していることが望ましい。
心理学	心理学関連の演習あるいはゼミ、講義科目を履修していることが望ましい。
社会学	社会学コース以外の文学部学生については、社会学概論1・2、社会調査法1・2を含む社会学コース設置科目を履修していることが望ましい。文化構想学部学生については、上記科目を履修していること、あるいは社会学関連分野のゼミ、専門演習、講義を履修していることが望ましい。これらの科目で平均してA評価以上であることが望ましい。
教育学	教育学に関する演習、講義科目を履修していることが望ましい。
日本語日本文学	日本語・日本文学に関する科目を履修していることが望ましい。
英文学	英文学、英語圏文化関連の講義・演習を履修していることが望ましい。
フランス語フランス文学	フランス語フランス文学・文化関連の科目と、中・上級フランス語の科目を履修していることが望ましい。
ドイツ語ドイツ文学	ドイツ語ドイツ文学・文化関連の科目と、中・上級ドイツ語の科目を履修していることが望ましい。
ロシア語ロシア文化	ロシア語、ロシア文学、ロシア文化関連の演習、講義科目を履修していることが望ましい。また、ロシア語原典に基づいて積極的にロシア語、ロシア文学、ロシア文化の研究をしようとする姿勢を期待する。
中国語中国文学	中国語中国文学関連の演習科目・講義科目、ならびに基礎外国語・選択外国語の中国語科目を履修していることが望ましい。
美術史学	文学部美術史コース以外に在学する推薦入学希望者は、美術史関連の講義科目を多く履修していることが望ましい。英語以外に、自分が専門としようとする分野に必要な外国語の十分な能力があること。美術館学芸員を志望する者は、学芸員資格取得見込みであるか、進学後2年以内に取得すること。
東洋史学	文学部アジア史コース以外に在学する推薦入学希望者は、アジア史関連の演習、講義科目を履修していることが望ましい。
西洋史学	特になし
考古学	特になし

文化人類学	文化人類学関連の演習、講義科目を履修していることが望ましい。また、外国語の成績優秀者であることが望ましい。
中東・イスラーム研究	文学部中東・イスラーム研究コース以外に所属する希望者は、中東・イスラーム研究関連の科目を履修していることが望ましい。また、希望する研究テーマに応じて、研究遂行に必要とされる言語を学んでいることが望ましい。
社会構築論	特になし

## 5. 推薦教員

出願者は早稲田大学所属の常勤教員（ただし、助教を除く）に対して推薦を依頼し、所定書式に「所見」を記入してもらう必要があります。詳細は入学試験要項でご確認ください。

## 6. 研究計画書・論文

出願に際して、志望理由や修士課程での研究計画を記したものを提出する必要があります。求められる分量等はコースにより異なります。詳細は入学試験要項でご確認ください。

## 7. 大学院先取り履修科目（文化構想学部、文学部在学者）

一定以上の単位を修得している4年次以上の学部学生は、文学研究科修士課程に設置されている科目を（その科目の担当教員の許可を得た上で）先取り履修することが可能です。この制度によって修得した単位は、学部での卒業所定単位には算入されませんが、修士課程に進学した場合には修士課程修了までに修得しなければならない32単位の中に16単位まで算入されます（演習科目は除く）。なお、算入するためには、大学院入学後、別途手続きが必要です。

推薦入学希望者には、この先取り履修を推奨しています。推薦入学試験を検討している方は、4年次以上の春学期の科目登録の際に、志望する大学院コースの科目の先取り履修を積極的に検討してください。なお、先取り履修の科目登録は学部の科目登録日程と異なります。詳細は最新年度版の「科目登録の手引き」等でご確認ください。

推薦入学試験の主たる狙いは、能力の判定においては学部での勉学の積み重ねを高く評価しつつ、学部在学中から大学院での研究を視野に入れることで、学部での勉学と修士課程での研究とをできる限りスムーズに接続させていこうとする点にあります。したがって、募集コースへの進学に関心がある人に対しては、大学院文学研究科のコースに問い合わせて大学院科目の先取り履修などについて相談することを推奨します。大学院の当該コース運営主任、またはコース室にお問い合わせください。

## 8. GPAの算出方法について

GPAとは、A+評価を4、A評価を3、B評価を2、C評価を1、不合格科目を0として、それぞれに修得単位数を乗じ、その総計を不合格科目を含む総登録単位数で割った値です。その際、合格・不合格のみがつくP・Q科目と認定のN、卒業に必要な単位に含まれない科目は計算から除外します。

### GPA 計算式

$$(A^+ \text{修得単位数} \times 4) + (A \text{修得単位数} \times 3) + (B \text{修得単位数} \times 2) + (C \text{修得単位数} \times 1) + (\text{不合格科目単位数} \times 0)$$

$$\text{GPA} = \frac{\text{総登録単位数 (不合格科目を含む)}}{\text{総登録単位数 (不合格科目を含む)}}$$

以上